

Communication
&
Security

BUSINESS
REPORT
2008

第51期 中間報告書

2008.4 - 2008.9

 **アイホン株式会社**



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社第51期第2四半期（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）の報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

当第2四半期におけるわが国の経済は、原油・原材料価格の高騰が企業収益を圧迫し、設備投資や雇用情勢・個人消費が伸び悩み、景気が先行き不透明となってまいりました。

また世界経済におきましても、米国のサブプライムローン問題に端を発した金融不安や株式・為替市場の混乱など景気低迷の懸念材料が多く景気が先行き不透明となってまいりました。

国内の住宅設備の分野におきましては、昨年の建築基準法改正による審査の厳格化に伴う新設住宅着工戸数の減少は改善へと向かっておりますが、その戸数は依然として低水準にて推移しており、今後も厳しい状況が続くものと思われまます。しかしながら、戸建、マンションに限らず既設住宅におけるリニューアル需要は益々拡大する傾向にあります。

このような状況の中で、当社はお客様のニーズに応えるべく、新製品の開発と積極的な営業活動を展開して業績の向上に努めてまいりました。

この結果、「企業集団の現況」でご報告申し上げますような内容となりました。この間の株主の皆様の方強いご支援に対しまして厚くお礼申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年12月

代表取締役社長 **市川 周作**

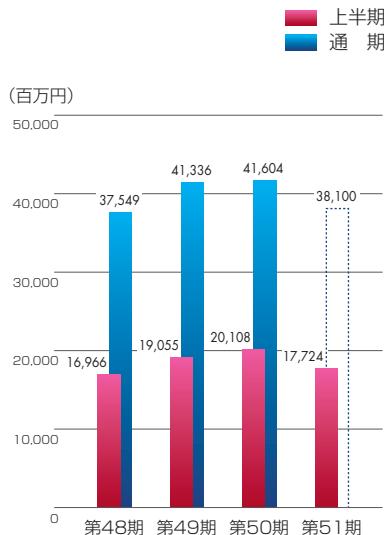
目次 - CONTENTS -

株主の皆様へ	1
決算ハイライト（連結）	2
企業集団の現況	3
テクノロジー・全社環境方針	5
ショールーム	6
ネットワーク	7
トピックス	9
連結財務諸表	11
会社概要	13
株式の状況	14

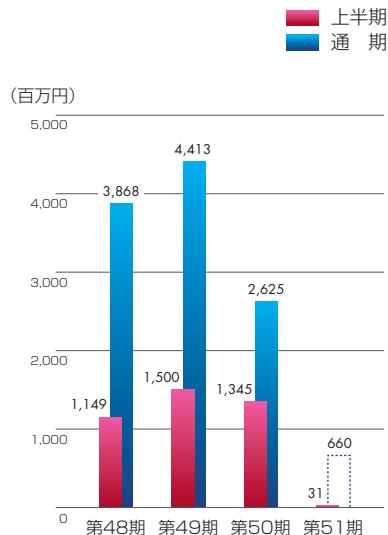


決算ハイライト（連結）

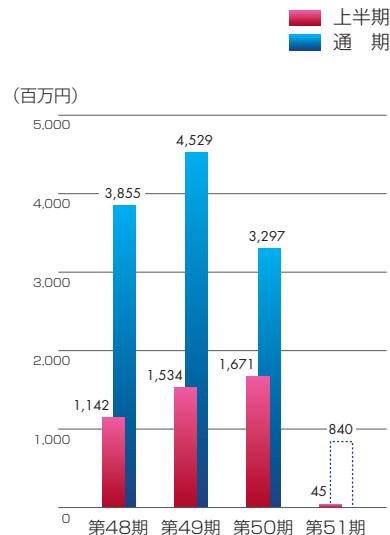
■ 売上高



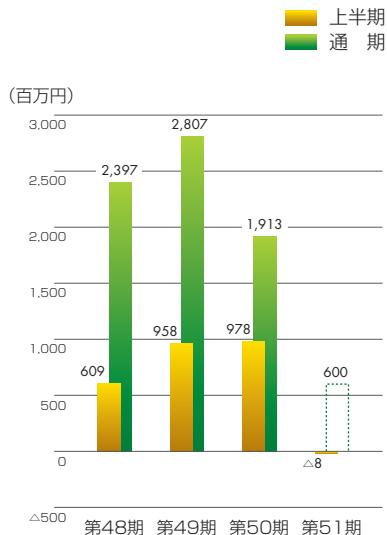
■ 営業利益



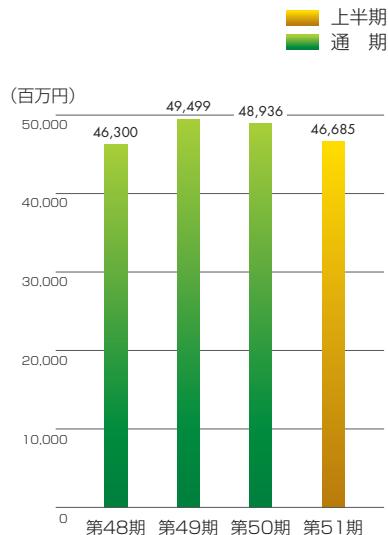
■ 経常利益



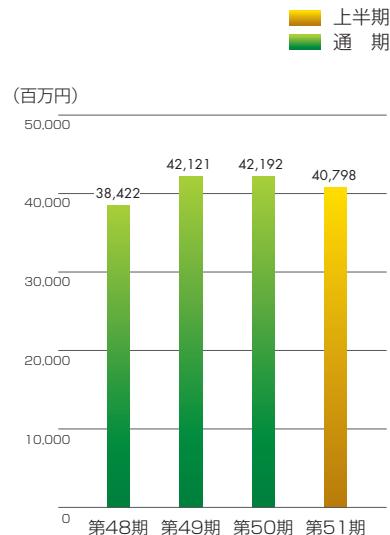
■ 中間（当期）純利益



■ 総資産



■ 純資産



(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



■ 当第2四半期の概況

平成20年4月1日から9月30日までの6カ月間（以下、当第2四半期）のわが国の経済は、原油や素材価格の高騰に伴う物価上昇等の懸念から個人消費の伸び悩みや企業の設備投資の改善には足踏みが見られ、先行き不透明感が強まる状況となりました。

輸出環境におきましては、米国における金融不安の高まりや株式・為替市場の環境悪化等を受けて今後の景気の動向については予断を許さない状況となりました。

国内の住宅設備の分野におきましては、昨年みられた建築基準法改正による審査の厳格化に伴う新設住宅着工戸数の大幅な減少傾向からは徐々に回復しつつありますが、経済情勢の見通しが不安定であることや建築資材価格の高騰による住宅価格上昇等の影響で住宅購入意欲の低下が見られることなど、新設住宅着工戸数は依然として低水準で推移しており大変厳しい環境となりました。

このような状況の中で、当社はお客様のニーズに応えるべく、新製品の開発と積極的な営業活動を展

開して業績の向上に努めてまいりました。

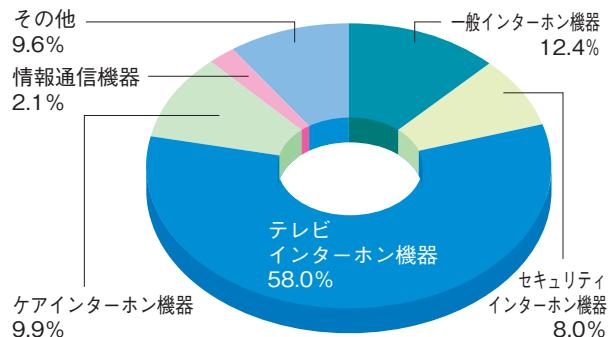
当第2四半期の販売状況は、テレビインターホン機器につきましては、海外市場向けに開発した製品の販売が欧州において好調に推移いたしました。国内では新設住宅着工戸数が減少した影響等や市場における競争が厳しく販売台数が伸び悩み、売上高は前年同期比15.3%減少いたしました。

一般インターホン機器につきましては、テレビインターホン機器への移行により、売上高は前年同期比16.0%減少いたしました。

またケアインターホン機器につきましては、既設病院においてナースコールシステムのリニューアル売上が増加いたしました。新築物件の売上高が減少したことなどにより、売上高は前年同期比5.6%減少いたしました。

セキュリティインターホン機器につきましては、自動火災報知設備とインターホン設備を一体化した自動火災警報受信機“一体盤”の販売が好調に推移しましたが、市場競争の激化により、売上高は前年

品目別売上高構成比（連結）



品目別販売状況（連結）

品目	売上高 (百万円)	前年同期比増減率 (%)	構成比 (%)
一般インターホン機器	2,198	△16.0	12.4
セキュリティインターホン機器	1,416	△13.9	8.0
テレビインターホン機器	10,283	△15.3	58.0
ケアインターホン機器	1,748	△5.6	9.9
情報通信機器	365	△20.3	2.1
その他	1,711	23.2	9.6
合計	17,724	△11.9	100.0

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

同期比 13.9%減少いたしました。

これらの結果、当第2四半期の経営成績は、売上高177億2千4百万円（前年同期比11.9%減）と前年同期間を下回りました。利益面につきましては、売上高の減少に加え、リコール対策費など製品保証引当金繰入の増加、棚卸資産の評価に関する会計基準適用による評価損により経常利益は4千5百万円（前年同期比97.3%減）となりました。また、投資有価証券評価損の発生等により四半期純損失は8百万円（前年同期は四半期純利益9億7千8百万円）となりました。

※前年同期増減率及び金額は参考として記載しております。



ますます加速する高齢社会。
ケアをする人、受ける人、
両者の視点が大切です。

■ 通期の見通し

今後の見通しについては、国内においては金融不安や為替市場の環境悪化による影響が当面続き、新設住宅着工戸数については引き続き低水準で推移するものと思われまます。リニューアル市場への営業強化により売上高の拡大を図りますが、販売価格の低下等の市場競争の激化は続き売上高の減少が予想されます。

海外においても世界的な景気減速感が強まっており、また引き続き円高の影響により、売上高が減少することが予想されます。また利益面でも売上高の減少に伴い、当初予想を下回る見通しであります。

このような状況の中、市場競争の激化に対応するため、海外生産の取組み強化や経費の削減等を図り、利益の確保に努めてまいります。尚、当社では新たな海外生産拠点として、ベトナムでの生産工場の建設を進めており、2009年春の稼働を目指しております。

今期の年度方針である「選択と集中により、バランス経営を推進し目標を達成する。」のもと、商品戦略や投資などにおいて選択と集中を進め、新築市場、リニューアル市場、海外市場のそれぞれの市場売上をバランスよく拡大することで安定的な経営を目指してまいります。

増え続ける犯罪、トラブル…
自分で守る「セルフガード」が重要です。





■ テクノロジー

 <p>基礎研究</p>	<p>アイホンは、人間が本来持つ身体機能・感覚をサポート。幅広い分野のテクノロジーの研究を進めています。</p>
 <p>製品開発</p>	<p>製品の使用状況やその使用感などを徹底的にリサーチし、開発に活かしています。</p>
 <p>生産</p>	<p>多品種少量生産、短納期を実現。コストパフォーマンスの高い確かな製品づくりを目指しています。</p>
 <p>品質管理</p>	<p>お客様の立場で「審査」「検証」「評価」の制度を確立。高品質を追求し、品質保証を最優先させています。</p>

映像、音響、伝送、デジタル処理・・・ 先端技術を「安心」のために的確にプロデュース。

撮る（カメラ）・映す（モニター）・保存する（録画）という「映像」技術。話す・聞く・音声再生という「音響」技術。そして伝送、デジタル処理、無線、ソフトウェア…。生活の中に定着しているさまざまな技術やノウハウを融合させ、新しい価値を生み出す、いわばテクノロジーのプロデューサー。それがアイホンの使命だと考えています。多彩なお客さまのニーズにお応えするための、多品種少量生産も独自のノウハウで実現しています。インターホンのスペシャリティ・メーカーとしての誇りと実績で、時代に応えるシステムを開発してまいります。



品質管理の最高賞
デミング賞受賞



ISO9001 認証
JQA-0291
該当製品・標準品・受注品



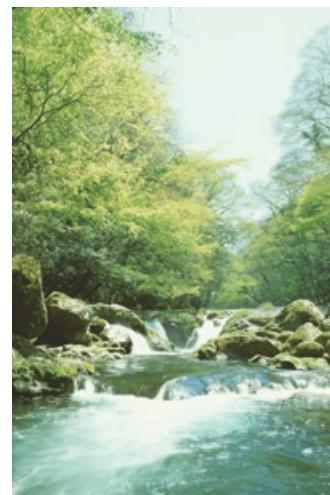
ISO 14001 認証
JQA-EMO453
豊田工場サイト
本社・大宝サイト

■ 全社環境方針

経営理念「自分の仕事に責任を持って 他人に迷惑をかけるな」のもと 地球環境の保全と事業活動の調和を図り行動していきます。

アイホングループは、コミュニケーションとセキュリティの技術で社会に貢献できる企業を目指し、以下に示す環境活動を行います。

- 1) 製品の開発、生産、販売及びサービスにおいて、環境への負荷の低減を図り地球環境の保全に努めます。
- 2) 事業活動において目的と目標を明確にし、以下の項目について継続的に評価し、改善を図っていきます。
 - ① 循環型社会を目指し、3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進と廃棄物の削減に努めます。
 - ② 環境汚染に結びつく有害な物質は、使用しません。
 - ③ 地球温暖化防止のため、省エネルギーに努めます。
- 3) 環境関連の法律、規制、協定を順守すると共に、自主基準を定めて環境の保全に努めます。
- 4) コミュニケーションを大切にし、人と環境にやさしい商品づくりを進めていきます。
- 5) 環境監査を実施し、環境マネジメントシステムの維持・向上に努めます。
- 6) 当社の従業員と全ての協力者に対し、環境方針の周知と徹底を図ります。
- 7) この環境方針は一般に公開します。





当社の製品をご自由にご覧いただけます。

営業日 月曜日～金曜日（除く祝日）
営業時間 9:00～17:00



■ 本社ショールーム ■

〒456-8666
名古屋市熱田区神野町2-18
(052) 682-3877

地下鉄名港線
日比野駅
2番出口より徒歩5分

■ 東京ショールーム ■

〒112-0001
東京都文京区白山3-2-2
(03) 5684-3411

東京メトロ丸ノ内線
茗荷谷（みょうがだに）駅
春日通出口より徒歩12分

都営地下鉄 三田線
白山（はくさん）駅
A1出口より徒歩13分



■ 大阪ショールーム ■

〒540-0005
大阪市中央区上町1-5-16
(06) 6765-0352

地下鉄鶴見緑地線
玉造（たまつくり）駅
1番出口より徒歩5分



国内ネットワーク

札幌支店
札幌営業所
札幌特販営業所

東北支店
仙台営業所
盛岡営業所
郡山営業所

北関東支店
さいたま営業所
宇都宮営業所
群馬営業所
つくば営業所

東京支店
東京営業所
東京特販 第一営業所
東京特販 第二営業所
東京ケアシステム (営)
東京住設営業所
東京リニューアル (営)
東京東営業所
東京南営業所
多摩営業所

千葉営業所
新潟営業所
長野営業所
横浜支店
横浜営業所
横浜特販営業所
横浜リニューアル (営)
東日本営業開発課
東日本テクニカルセンター



(東京支店)

大阪支店
営業開発課
大阪テクニカルセンター
大阪営業所
大阪特販営業所
大阪ケアシステム (営)
大阪住設営業所
大阪リニューアル (営)
京都営業所
豊中営業所
神戸営業所
中・四国支店
中・四国テクニカルセンター
広島営業所
高松営業所
岡山営業所



(大阪支店)



(本社)

名古屋支店
営業開発課
名古屋テクニカルセンター
名古屋営業所
名古屋特販営業所
名古屋ケアシステム (営)
名古屋住設営業所
名古屋リニューアル (営)
静岡営業所
金沢営業所



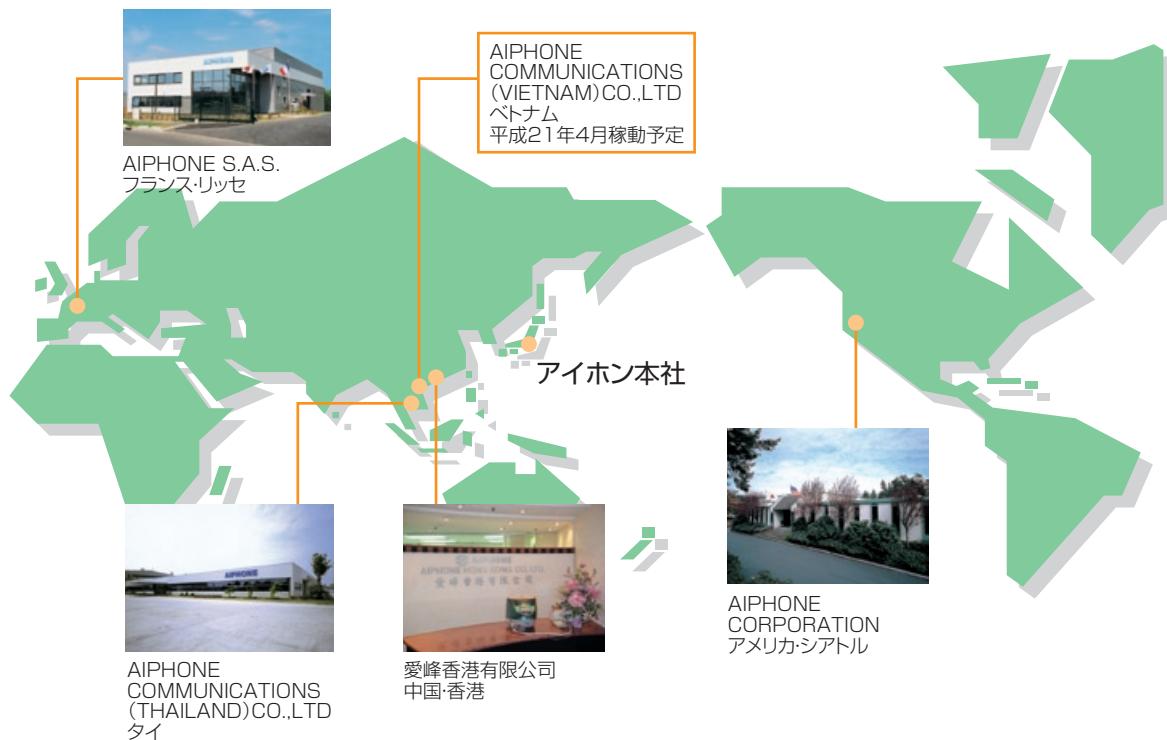
(豊田工場)



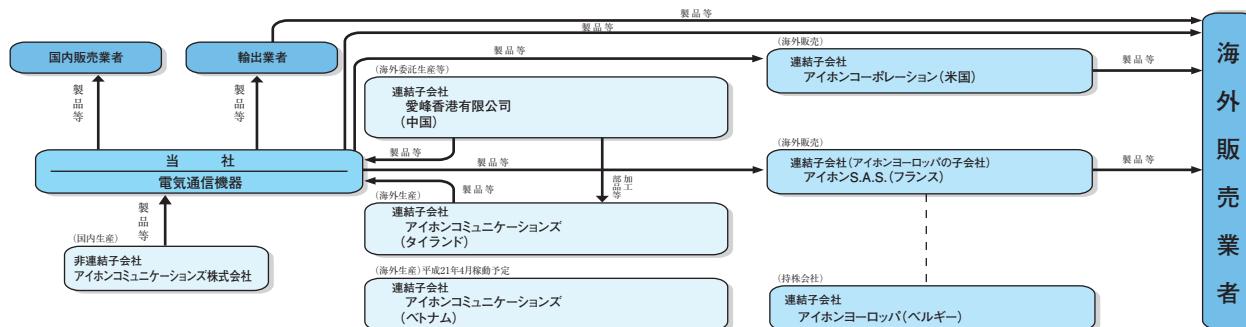
(本社技術棟)



■ 海外ネットワーク



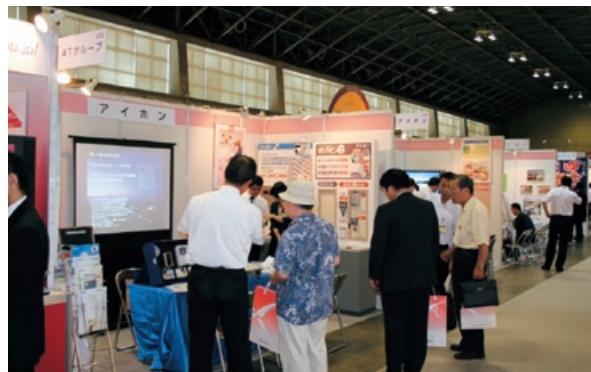
■ 事業の系統図 (平成20年9月30日現在)





名証IRエキスポ2008

主催 名古屋証券取引所



今年で15回目を迎える「名証IRエキスポ2008」(名古屋証券取引所主催)が7月18日(金)19日(土)の2日間にわたり、名古屋市の吹上ホールで開催されました。

今年は137社の企業が出展し、来場者数は両日合わせて、6,200名にのぼり、いずれも過去最多を記録しました。

当社も証券アナリスト向け個別面談やブースツアー説明会をおこない、会社の概要や2008年3月期の決算概要等をご説明するとともに、ディスプレイをご覧ください実際の商品の良さを説明いたしました。

ROCOワイド

超ワイド画面

ズーム画面



カメラ付玄関子機



モニター付親機



パンチルト



ズーム画面の時は矢印の方向に画面を動かして周辺が見られる「パンチルト」機能を搭載

※ワイド&ズーム&パンチルト機能の切替は、すべて手動操作となります。

テレビドアホンの新シリーズとして、ほぼ真横まで見える超広角（ワイド）カメラと、顔をしっかり確認できるズーム&パンチルト機能で防犯性を強化したテレビドアホンROCOワイドを新発売します。

玄関子機のカメラ部に業界最高水準の超広角レンズを採用することで玄関先の死角を少なくするとともに、独自の画像処理技術により自然な映像として表示します。また、ズーム機能とパンチルト機能で訪問者の顔をしっかりと捉えます。

● 特 長 ●

- ① 超広角カメラで、玄関子機のほぼ真横まで確認でき、玄関の様子を一望できます。
- ② お客様の顔を見るときは、ズーム&パンチルト機能でしっかりと映せます。
- ③ 太陽光や反射光で見えにくくなった映像を補正する「逆光補正機能」を標準搭載。
- ④ 定評のある「夜もカラー」をさらに強化し、照明なしで夜間モニターができます。
- ⑤ 独自のデジタル画像処理技術により、鮮明で詳細な画面づくりを実現。
- ⑥ 2階での対応も可能な増設親機を2タイプ用意。（モニター付増設親機、モニター無し増設親機）
- ⑦ 室内親機はインテリアにマッチするシンプルなデザインを採用。
- ⑧ カメラ付玄関子機は薄型新デザインとし、設置する場所を選びません。
- ⑨ 住宅用火災警報器やコールボタンとの連動が可能です。



■ 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第51期第2四半期 (平成20年9月30日現在)
資産の部	
流 動 資 産	32,782
現金及び預金	12,969
受取手形及び売掛金	8,498
有 価 証 券	2,297
た な 卸 資 産	7,848
繰 延 税 金 資 産	907
そ の 他	311
貸 倒 引 当 金	△51
固 定 資 産	13,903
有 形 固 定 資 産	5,614
建物及び構築物	1,883
機械装置及び運搬具	406
工具器具備品	798
土 地	2,509
建設仮勘定	16
無 形 固 定 資 産	0
投資その他の資産	8,288
投資有価証券	7,087
繰 延 税 金 資 産	514
そ の 他	716
貸 倒 引 当 金	△29
資 産 合 計	46,685

科 目	第51期第2四半期 (平成20年9月30日現在)
負債の部	
流 動 負 債	4,336
買 掛 金	1,490
未 払 法 人 税 等	34
製 品 保 証 引 当 金	269
そ の 他	2,543
固 定 負 債	1,549
繰 延 税 金 負 債	2
再評価に係る繰延税金負債	157
退 職 給 付 引 当 金	353
そ の 他	1,036
負 債 合 計	5,886
純資産の部	
株 主 資 本	41,574
資 本 金	5,388
資 本 剰 余 金	5,383
利 益 剰 余 金	32,682
自 己 株 式	△1,879
評 価 ・ 換 算 差 額 等	△1,738
その他有価証券評価差額金	274
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	△8
土 地 再 評 価 差 額 金	△2,390
為 替 換 算 調 整 勘 定	387
少 数 株 主 持 分	962
純 資 産 合 計	40,798
負 債 純 資 産 合 計	46,685

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第51期第2四半期 (平成20年4月1日～平成20年9月30日)
売 上 高	17,724
売 上 原 価	10,813
売 上 総 利 益	6,911
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	6,880
営 業 利 益	31
営 業 外 収 益	173
受 取 利 息	60
受 取 配 当 金	58
寮・社宅家賃収入	20
受 取 開 発 収 入	20
そ の 他	14
営 業 外 費 用	159
支 払 利 息	4
為 替 差 損	24
売 上 割 引	94
受 取 開 発 費 用	17
そ の 他	18
経 常 利 益	45
特 別 利 益	8
特 別 損 失	85
税金等調整前四半期純損失	△31
法人税、住民税及び事業税	△46
少数株主利益	23
四 半 期 純 損 失	△8

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	第51期第2四半期 (平成20年4月1日～平成20年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,180
投資活動によるキャッシュ・フロー	△273
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,024
現金及び現金同等物に係る換算差額	△24
現金及び現金同等物の増減額	858
現金及び現金同等物の期首残高	13,789
現金及び現金同等物の中間期末残高	14,647

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



- 社 名 アイホン株式会社
- 本 社 所 在 地 名古屋市熱田区神野町二丁目18番地
- 資 本 金 5,388,844,000円
- 事 業 の 内 容
 1. 通信機器、音響機器、電子応用機器ならびに各種電気機器の製造、据付工事、請負、修理、売買及び輸出入。
 2. 情報通信、情報処理及び情報提供のサービスならびにインターネットの接続仲介業。
 3. コンピューターシステム機器及びソフトウェアの設計、開発ならびに販売。
 4. 損害保険代理店業及び生命保険の募集に関する業務。
 5. 不動産の売買・賃貸借及びその仲介ならびに不動産の管理。
 6. 前各号に附帯する一切の業務。

上記の主な製品品目は、一般インターホン機器、セキュリティインターホン機器、テレビインターホン機器、ケアインターホン機器、情報通信機器であります。

■ 役 員

代表取締役社長	市川周作	常勤監査役	梶田良貴
常務取締役	堀田透	監査役	坂浦正輝
常務取締役	浅野龍一	監査役	立岡亘
取締役	羽田野進	監査役	石田喜樹
取締役	安藤正道		

■ 最 高 顧 問

市川利夫

■ 執 行 役 員

神谷喜生

岡田修

寺尾浩典

平児敦夫

浅野浩司

加藤淳夫

ホームページのご案内

当社ではホームページにて当社の企業情報を随時開示しています。製品紹介のサイトでは当社が出展した展示会情報等を掲載しているほか、IR情報のサイトでは決算短信等がご覧いただけます。

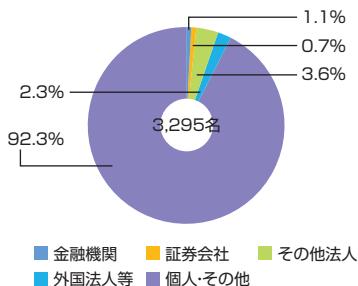
<http://www.aiphone.jp/index.html>



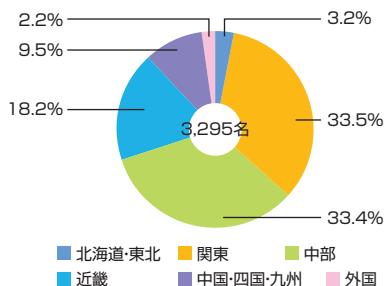


株式の状況 (2008年9月30日現在)

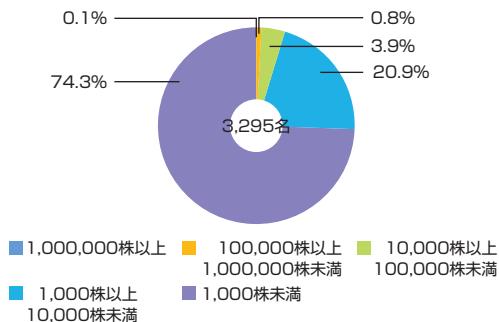
- 発行可能株式総数.....80,000,000株
- 発行済株式の総数.....20,674,128株
- 株主数 3,295名
- 所有者別分布状況



地域別分布状況



株数別分布状況



大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
市川周作	2,422	11.71
いちごアセットトラスト	2,208	10.68
アイホン従業員持株会	792	3.83
株式会社みずほ銀行	726	3.51
日本生命保険相互会社	613	2.96
三菱UFJ信託銀行株式会社	607	2.93
株式会社三菱東京UFJ銀行	604	2.92
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	548	2.65
第一生命保険相互会社	480	2.32
ユービーエスイージー・ロンドンアジアスクイティーズ	435	2.10

(注) 当社は自己株式1,096千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)

【株式に関するお手続き用紙のご請求について】

株式に関するお手続き用紙（届出住所・お届出印等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書等）のご請求につきましては、以下のお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

TEL 0120-244-479 (通話料無料)

インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

同取次所(注)	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部、名古屋証券取引所市場第一部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.aiphone.co.jp/bu/koukoku.html (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

(注) 株主名簿管理人の「取次所」の定めについて

株券電子化後、株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社経由で行っていただくこととなるため、株主名簿管理人の「取次所」に関する株式取扱規程の定めは、株券電子化の実施時をもって削除いたします。

なお、未受領の配当金のお支払いにつきましては、引き続き株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社の本店でお取扱いいたします。

株券電子化実施に伴うお知らせ

1. 特別口座の口座管理機関について

保管振替制度ご利用でない株主様につきましては、ご所有の株式は以下に開設される特別口座に記録されます（平成21年1月26日に記載される予定です）。

特別口座に記録された株式に関するお手続き（振替請求・単元未満株式買取請求・届出住所の変更・配当金の振込指定等）につきましては、株券電子化実施後、下記口座管理機関の連絡先にお問合せください。なお、特別口座に記録された株主様のお手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行の全国本店でお取次ぎします。

また、特別口座に記録された株式の振替請求、単元未満株式買取請求等の各種ご請求やお届出につきましては、平成21年1月26日以降にお手続きが可能となりますので、ご留意ください。

特別口座を開設する 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料)

2. 株券電子化前後における単元未満株式買取請求のご請求について

株券電子化の前後においては、単元未満株式買取請求につきまして、以下のとおりとなりますので、ご留意ください。

- 保管振替制度をご利用でない単元未満株式に関するご請求
単元未満株式買取請求について
平成21年1月5日(月)から平成21年1月25日(日)までは、受付を停止いたします。
また、平成20年12月25日(木)から12月30日(火)までのご請求受付分につきましては、買取代金のお支払いを平成21年1月30日(金)とさせていただきます。
- 保管振替制度をご利用の単元未満株式について
単元未満株式買取請求について
平成20年12月24日(水)から平成21年1月4日(日)までは、受付停止となります。

3. 株主様のご住所およびお名前のご登録について

株主様のご住所およびお名前の文字に、振替機関で指定されていない漢字等が含まれている場合には、その全部または一部を振替機関で指定された文字に変換のうえ、株主名簿にご登録させていただくことがございますので、ご了承ください。

<ご参考>

株券電子化に関する詳細につきましては、証券決済制度改革推進センターのホームページに掲載されたQ&A (<http://www.kessaicenter.com/kaikaku/kabuken10aa.pdf>) をご参照ください。

また、株券電子化に関するご質問・ご相談は、「株券電子化コールセンター(※) (0120-77-0915) (通話料無料。平日・土曜/9:00~17:00) までお問い合わせください。

(※) 株券電子化コールセンターは、ほふり、日本証券業協会、東京証券取引所が共同で運営する株券電子化についての相談窓口です。



- 石油系溶剤を全く使用しない揮発性有機化合物ゼロの植物性インキを使用。
- 印刷工程で有害廃液を出さない水なし印刷。

受賞・認証



品質管理の最高賞
デミング賞受賞
(昭和56年11月受賞)



ISO9001認証
JQA-0291
該当製品: 標準品・受注品
(平成5年10月認証)



ISO14001認証
JQA-EMD453
豊田工場サイト
(平成11年6月認証)
本社・大宝サイト
(平成18年5月認証)

商品の修理受付・ご相談

修理受付センター
0120-037-704
FAX 0120-098-990
●受付時間 午前9:00~午後5:30 ●年中無休(365日)受付
土曜、日曜も受け付けております。

お客様の様々なご相談は
お客様相談センター
0120-141-092
(ご注文 携帯電話からのご利用はできません)

●受付時間 午前9:00~午後5:30
●土、日、祭日、およびお祭、年末・年始、ゴールデンウィークを除く。